

第1号議題 2018年度事業報告及び収支決算報告に関する件

2018年度は会員増強を最重要課題として取り組んだ結果、法人8社、個人35名の新規会員を獲得する成果を挙げることができた。加えて、基本方針に掲げた親善交流事業の活性化と集客アップ及び財務改善のための諸施策も一部未達もあったが総じて相応の実績を挙げた。

1. 会員増強

(1) シンガポール出張による現地での会員勧誘並びに広報宣伝活動

会長、副会長がシンガポールに出張の上日本企業の現地法人・支店を往訪し勧誘を行った結果、在外法人会員5社の新規会員を獲得できた。また、現地日本商工会議所、日本人会へのプレゼンを実施し、理事が帰国する際に当協会の案内を配布することで帰国後の個人会員入会につながる仕組みを構築できた。

(2) 国内での法人会員勧誘

国内の法人会員獲得のハードルは高いが、協会顧問に就任された前駐シンガポール日本大使のご支援により新たに3社の法人会員を獲得することができた。

(3) 個人会員、若手会員の勧誘

正会員入会者26名の内10名が終身・5年の長期会員としての入会であり、安定的な会費収入の確保につながった。また、日本人学校OBOG懇親会参加者やホームページを見ての入会も若手賛助会員（学生、青年）を中心に4名の入会があった。

2. 親善交流事業の活性化と集客アップ等の事業活動

(1) 駐日シンガポール大使夫妻、シンガポール大使館関係者や外務省、元駐シンガポール日本大使・公使との連携を深め、親善交流活動における協会の存在感を高めた。

(2) 在日シンガポール人団体との交流については相互にイベントに参加し親睦を深めた。

(3) 恒例のAfternoon Tea Salon、The Get Together、懇親ゴルフ、新春落語の参加者は例年を上回ったが日本人学校OBOG懇親会は参加者数が大幅に減少し見直しが必要となった。

(4) 広報事業では季刊誌「シンガポール」を年3回発行、調査研究・出版事業では「シンガポール共和国の概況」をアップデートした。書籍販売もシンガポール会社法を中心に堅調であった。

3. 財務改善のための施策

(1) 財務面では前期最終損益は▲328千円の赤字となったが、これは戦略的一時経費であるシンガポール出張支出504千円を含んだものであり、これを除いた経常損益は△176千円と前々期並みの黒字であった。なお、シンガポール出張による法人会員獲得の会費収入への効果△500千円は今期以降実現する。一方、管理費は抑制的に運用しほぼ計画内に納まった。

(2) 前期から実施した講師派遣事業は件数10件、ネット収益124千円を計画のところ件数4件、ネット収益40千円にとどまり未達に終わった。一方、親善交流事業のネット収益は計画255千円を大幅に上回る352千円を計上でき財務改善に貢献した。

附属明細書

特に記載すべき重要な事項はありません。

以上

第2号議題 2019年度事業計画及び収支予算に関する件

本年度予算の最終損益は対前期比 685 千円改善の△357 千円を見込む。大幅増益の主因は会費収入が法人会員獲得効果により△487 千円増えるのと前期に発生した戦略的一時経費▲504 千円が無くなることによるものである。一方、会員数は前年度法人 8 社、個人 35 名の新会員を獲得したものの、今年度からの退会者は法人 3 社、個人 34 名に上り会員の退会は趨勢的に続いている。退会の理由は主として法人の場合は経費の見直し、個人の場合は高齢化に伴う交際範囲の整理・縮小であるが、今後この傾向は不変で一定数の退会者が出てくるのは避けられない。このため、今年度も引き続き会員増強を最重要課題として取り組み、併せて財務改善のための諸施策の推進及び親善交流活動と会員サービスの強化を図ることとしたい。

1. 会員増強のための施策

- (1) シンガポール出張による現地での法人会員勧誘効果は大きく、今後も定期的な出張（例：隔年毎）を実施し現地法人会員の獲得と交流に努めたい。とりわけかつて法人会員であった企業の再入会及びここ数年内に新たに事業を開始もしくは拠点を設けた企業の勧誘に力をいれたい。(2) 優秀なシンガポール人雇用に関心を持つ日本企業と在日シンガポール人留学生とのマッチングの機会を設けることで法人会員入会のビジネス上のインセンティブ付けを検討したい。
- (2) 顧問、特別参与をはじめとする役員のリートを積極活用し法人会員獲得に結び付ける。

2. 財務改善のための施策

- (1) 現在賃借中の協会事務所のオーナーが賃借料の値上げと事務所の売却を通告してきた。この機に協会関係者が物件を購入し、新たに現行比低い賃料で長期の賃貸借契約締結することでコスト削減と事務所の安定的確保を図る。
- (2) 前期低調な出足にとどまったシンガポール修学旅行事前研修講座への講師派遣事業に関しシンガポール観光局（STB）との協働による件数の増加を目指す。また、学校側からの講師料及び研修内容に係る要望に柔軟に対応する。
- (3) Afternoon Tea Salon、The Get Together、懇親ゴルフ、新春落語、日本人学校 OBOG 懇親会等のイベントで集客アップによる収入増を図るとともに、賞品・景品の寄付並びに会場でのチャリティ・ボックスへの寄付を呼びかける。

3. 親善交流活動及び会員サービス強化のための施策

- (1) 駐日シンガポール大使夫妻、シンガポール大使館関係者や外務省、元駐シンガポール日本大使・公使との連携をさらに深め、親善交流活動に寄与する。
- (2) 全国各地のシンガポール協会、シンガポールとつながりのある地方団体と協働を強化し、より幅の広い活動につなげる。
- (3) 広報事業では季刊誌を充実するため日本商工会議所（JCCI）、日本人会とのタイアップの上ビジネス情報やシンガポール日本人社会の動向につき機関誌記事から抜粋して紹介する。また、「シンガポール共和国の概況」をアップデートの上会員に配布する。
- (4) 会員カードで割引の得られる提携レストラン、ゴルフ場等の拡充を図る。

以上